資料2

資料1に係る検討会委員事前意見

1　全体ゾーニングについて

【委員意見】	【事務局対応案】
(p2 刷新のポイント) ・　「映像を重視した空間・・・」としては、出来るだけ目の前に起きた現実をしっかりと理解していただくために必須な事項と考えます。特に、報道等で流れた初期映像などは後世に伝えていくことが非常に重要かと考えます。	・　意見を参考に内容に反映させたい。

2　導入展示の見直しについて

【委員意見】	【事務局対応案】
(p7 子どもたちのメッセージ) ・　メッセージの保存、発表・コンクール、短・中長期的な効果等に配慮した対応について、教育庁等とのヒアを元に検討とありますが、是非実現させて頂きたいと思います。	・　検討会や教育庁などの関係者に意見を伺いながら検討していきたい。

3　展示の基本デザイン及び手法について

【委員意見】	【事務局対応案】
(p9 操作する･扱う) ・　厳密には難しいのですが、放射性物質の強さや量を計測器のような音の数、光の量、パルス等での表現の工夫を検討してください。	・　子供たちが興味を持って体験し、学ぶことができるような手法となるよう、検討していきたい。
(p9～11 展示のポイント) ・　「パネルには必ず例えや・・・」とか、「難しい内容は「例える」」とありますが、“例え” によって理解が進む場合も、また逆に誤解を生む場合もありますので要注意。事前に、当検討会委員をはじめ、色々な方のご意見を仰ぐことが必要。	・　意見を踏まえて対応していきたい。

（p11 放射線ラボ「知る」） ・　単なる解説、展示では興味がなくなるので、光や音を用いて、量や強さを表現できるものを工夫する。 　アテンダントが使用することも含めて、放射性物質をボーアの原子モデルを使って表現できる模型が欲しい。 　放射線の性質表示は面白そうです。	・　子供たちが興味を持って体験し、学ぶことができるような手法となるよう、検討したい。
（p12 放射線ラボ「測る」） ・　計測器の中にイメージングプレートによる極微量放射能分布の測定器を導入して欲しい。すぐに測って、見せられるのではないか。	・　イメージングプレートによる放射線の存在の視覚化は、体験研修室において実施することを検討している。
（p16 環境創造ラボ「環境創造に向けて」） ・　展示が中心で面白みに欠ける。太陽光を使用したスターリングエンジンや、それで動く自動車・列車、風力発電でエネルギーを作成する道具など、自ら使用することで具体的に学べる道具が欲しい。 　環境シナリオゲーム→自分の生活体験を入れて、持続性を判断するようなゲームも面白い。（自らの環境価値観を問うゲームなど）	・　子供たちが興味を持って体験し、学ぶことができるような手法となるよう、検討したい。 　なお、太陽光発電で動く装置を組み立てるといった実習は、体験研修室において実施することを検討している。
（p17 未来へのメッセージ） ・　「未来へのメッセージ」については、あらかた問題ないとは思われるものの、より多様なご意見等が寄せられると思われ、継続して保存・共有するかのスクリーニングのあり方について、関係者間で事前に検討しておくことが望まれます。	・　スクリーニングなどの運用方法については、意見を踏まえて検討していきたい。
（p17 未来へのメッセージ） ・　多言語対応とのことですが、どの程度の対応が可能か検討する。PDF 対応もそのときの絵や自筆も残せて面白いのではないか。	・　メッセージの入力方法については、意見を踏まえて検討していきたい。

資料1に係る検討会委員事前意見

4　交流棟の運営プログラムについて

【委員意見】	【事務局対応案】
（p20 学校などの団体利用の流れ） ・　利用者の動き、タイムテーブル等について、事前に検討しておくことは重要です。また、実際に運用しながら、適宜見直しを行い、より効果の高い受け入れ対応が図られることを期待します。	・　意見を参考に対応していきたい。
（p20 学校などの団体利用の流れ） ・　人数対応も重要ですが、発達段階対応も検討する必要があるのではないか。	・　意見を参考に対応していきたい。
（p21 体験プログラム） ・　体験プログラムについては、十分内容を検討し、研修時間等の時間的な制約があるものの、その場で満足し「もっとやりたかった。もう少し学びたかった。」などの感想が持てるものとしなければ、リピータを期待することができなくなってしまう。小学生等への学びとして満足できるものを検討してほしい。	・　意見を踏まえて対応していきたい。

5　その他

【委員意見】	【事務局対応案】
・　平成２６年の現時点での現状や想定を踏まえた内容となっているが、開館後に状況の変化に対応できるよう、展示物等の作り込みをお願いしたい。	・　更新対応が必要となる展示に関しては、できる限り更新可能な内容としたい。
・　アテンダント養成が重要に思います。	・　運営プログラムにおいて、アテンダント等の養成を組み入れ、対応することを検討している。